

# 文化財継承へ人材ネット



岡山県倉敷市の景観を視察するアメニティ2000協会の会員ら(昨年12月7日撮影)＝同協会提供

## 西宮のNPO ノウハウ蓄積 提言へ

阪神間の歴史的建造物の保存や景観保全に取り組むNPO法人「アメニティ2000協会」(西宮市)が4月、「文化遺産継承協議会」を発足させる。協会内外で文化財継承に携わる人材のネットワークを形成。セミナーや建物調査を通じて、文化的遺産への理解を深め、継承のノウハウを提言していく。

(浅野友美)

## 来月協議会 セミナーや調査

同NPOは、豊かな自然と街並みを次世代に受け継ぐと、2000年に設立され、英語で「住み心地がいい」を意味する「amenity(アメニティ)」を名称にした。現在の会員は約390人。基金によって対象資産の保存、管理、運営を行う英国発祥の「ナショナルトラスト」運動の精神を受け継ぎ、02年から3年がかりで、阪神間の戦前の建物約550棟の実態調査も行った。

08年には、募金2500万円を集め、米国人建築家・ヴォーリスが設計した「六甲山荘」(神戸市灘区)を買い取って改修し、邸内

を公開。ほかにも、街並み見学会や歴史的建造物でのコンサートなどを企画してきた。

文化財の保存・継承を巡る問題は年々複雑化、多様化しており、幅広い知識や

月日	テーマ	講師(敬称略)
4月12日	阪神間の歴史的建築の様相ーモダニズム文化の行方ー	アメニティ2000協会理事長 清水彬久
5月10日	近代建築の魅力ー近代建築の断面から読み取るもの	建築家 長瀬信博
6月28日	ナショナルトラスト運動	アメニティ2000協会事務局長 清水順子
7月12日	旧ジョネス邸の保存運動	旧グッゲンハイム邸管理人 森本アリ
9月27日	<ヴォーリス六甲山荘築80周年記念事業>旧小寺山荘と私	六甲山荘元所有者 森野郁子

※いずれも午後2時から  
 ※会場は草志舎(西宮市北昭和町3の20)で、第5回のみ六甲山荘で行う  
 ※受講料は1回2500円で、全5回であれば1万1000円

ノウハウの蓄積がなければ解決に結びつかないことから、会員外にもネットワークを広げるための協議会設立を決めた。

まずは、4と9月に計5回、近代建築やモダニズム文化に関する一般人向けセミナーを開催。昨年11月に解体された旧ジョネス邸の保存運動に関わった住民らも登壇する。

NPO会員が所有する県内外の文化財や、阪神間の既存の歴史的建築物を改めて建築家らが調査するほか、有識者を招いたシンポジウムも企画する。

NPOの清水彬久理事長は「それぞれの建物の実情に合わせて、次代に受け継ぐためにみんなで何ができるかを具体的に考える第一歩にしたい」と話している。

セミナーは有料で、定員は各回20人。問い合わせはNPO(0797・35・2181)。